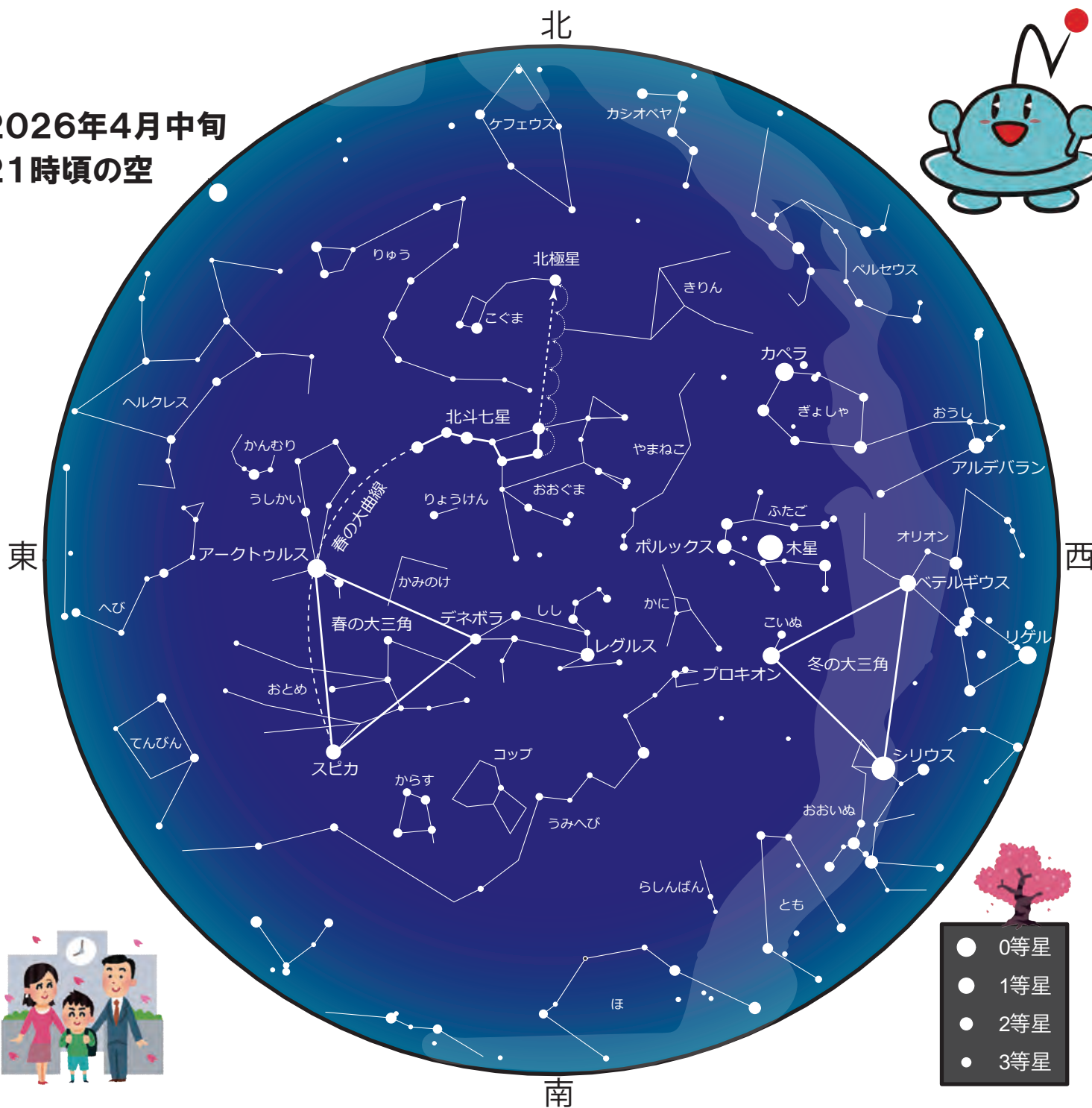


阿南市科学センター

4月の星空案内

2026年4月中旬
21時頃の空



新学期や新生活が始まる4月、夜空を見上げてみると、春の星座たちがぞろぞろと昇ってきています。北の空高い位置にはひしゃくの形をした**北斗七星**を見つけることができます。これを使って様々な星や星座を探していきましょう。まずはひしゃくの水を汲む位置にある二つの星の間の距離をはかって5倍さらに北の空にのぼしてみると**北極星**の**ポラリス**（約2.0等）を見つけることができます。今度はひしゃくの取っ手の部分に注目してみましょう。先の星から南東の方角へ曲線をのぼしてみるとオレンジっぽく輝く**うしかい座**の一等星**アークトゥルス**（約-0.1等）を見つけることができます。ここからさらに南へのぼすと青白い**おとめ座**の一等星**スピカ**（約1.0等）を見つけられます。これを**春の大曲線**といい、さらに伸ばしてみると、ひしゃげた四角形をした**からす座**を見つけられます。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催】

阿南市科学センター

電話 0884-42-1600

<https://www.ananscience.jp/science/>

4月の月の満ち欠けと惑星について



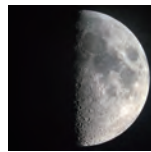
満月
2日



下弦
10日



新月
17日



上弦
24日

4月の天体観望会で月が見える日時は？



4/25 (土)・・・全ての回で観察可能



4月24日の20時20分
ごろに月面Xが見られるよ！
望遠鏡で覗いてみよう！



水星：4日に西方最大離角をむかえ、明け方東のごく低空で見える。【約0.3等】

金星：夕方、西の空で観察できる（宵の明星）。【-3.9等】

火星：観察は難しい。

木星：日没後、南西の空で見えるが、後半夜のうちに沈んでしまう。【約-2.1等】

土星：観測は難しい。

※各惑星の等級は中旬頃の明るさ（水星は4日の明るさ）。

3月3日の皆既月食



悪天候に見舞われたけど雲の隙間
から少しだけ見えたよ！みんなは
どうだったかな？



今月の天文現象

【その姿を現すか！？ 明るい彗星が2つもやってくる…かも？】

昨今紫金山・アトラス彗星やレモン彗星など、明るくなった彗星がやってきて目にした人やスマホ等のカメラを使って撮影した人も少なくないのではないのでしょうか。この4月には二つの彗星が明るくなると予想されており、それぞれマップス彗星 (C/2026 A1)、パンスターズ彗星 (C/2025 R3) と名前がつけられています。この二つの彗星がいつどこで見られるのか確認してみましょう。

○マップス彗星 (C/2026 A1)

今年に入ってから発見された長周期彗星です。この彗星は4月4日の近日点（太陽に最も近づく日）に太陽まで約85.5万kmと、かなり近くまで接近します。そのため、この彗星が地球から観測できるころには崩壊してしまっているかもしれません。しかし、もし観測できたとき、場合によっては肉眼彗星になる可能性があります。日本で観測しやすいのは11日以降の夕方西の空（図1）。金星を目印に双眼鏡などを使ってぜひ探してみてください。

○パンスターズ彗星 (C/2025 R3)

昨年発見された彗星で、予想されていたものよりも少し明るく、最大で約5等級になると考えられています。肉眼で見つけることは難しいため、双眼鏡を使うといいでしょう。この彗星は近日点通過（4月20日）の前後に明け方東の空で見つけることができます（図2）。

彗星は基本低い位置にいるため、阿南市であれば、明け方の彗星を観測するときは東側が開けた海辺を、夕方の彗星は西側が開けて山々が少ない、もしくは自分自身が少し高い位置で観測するといいかもかもしれません。また彗星が実際に太陽に近づいた時に、崩壊するのか生き残るのかは有名な天文学者でもわかりません。彗星の姿を拝むことができるように祈りましょう。

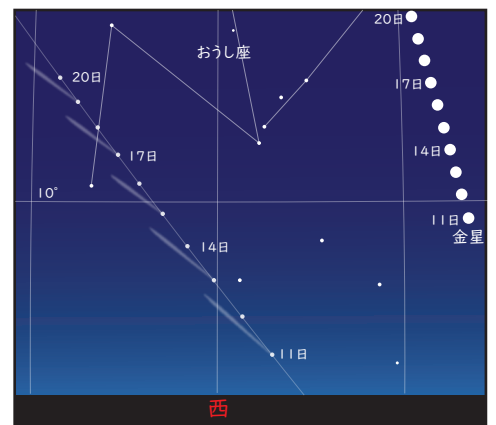


図1 阿南市から見たマップス彗星の位置
(11日～20日19時30分の夜空)
※図はステラナビゲータをもとに作成

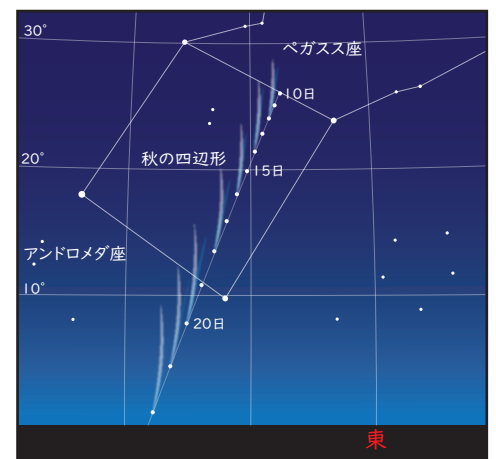


図2 阿南市から見たパンスターズ彗星の位置
(10日～22日4時30分の夜空)
※図はステラナビゲータをもとに作成